

編集発行：山口県立大学同窓会桜圃会

《事務局》〒753-8502 山口市桜島3-2-1
TEL&FAX083(925)7485 振替口座01570-2-25095
メールアドレス ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp
印刷：(株)マルニ

Ouhokai - Kaihou 桜圃会

会報

Vol.69
令和3年3月1日発行



新3号館 外観



新3号館1階図書館(令和3年4月運営開始予定)



新3号館5階(アクティブ・ラーニング・スタジオ)



新3号館 3階(くつろぎスペース)

コロナウイルスに うちかつ薬

山口県立大学学長 加登田 恵子



令和二年の暮開けは、中国・武漢における感染症拡大のニュースで始まりました。入学試験は何とかスケジュール通りこなしたものの、卒業式も入学式も中止。創立以来八〇年の歴史のなかで、卒業式や入学式が開催されなかったのは二回目、前回は昭和二〇年の終戦の年だったと言いますから、まさに歴史的事態だと言えましょう。

その後、実験・実習以外の授業は、基本的にインターネットによる「遠隔授業」で行っています。教員と学生の直接やりとりが可能なシステムを採用しており、グループディスカッションの機能もついています。画面を見ながらの話し合いは、ぎこちなくなるのは否めません。特に、山口にもまだ馴染まず、サークルや部活等の友達づくりの機会の少ない新入生には本当に申し訳なく思いました。

ウィズ・コロナ(コロナと共に)

令和二年の暮開けは、中国・武漢における感染症拡大のニュースで始まりました。入学試験は何とかスケジュール通りこなしたものの、卒業式も入学式も中止。創立以来八〇年の歴史のなかで、卒業式や入学式が開催されなかったのは二回目、前回は昭和二〇年の終戦の年だったと言いますから、まさに歴史的事態だと言えましょう。

その後、実験・実習以外の授業は、基本的にインターネットによる「遠隔授業」で行っています。教員と学生の直接やりとりが可能なシステムを採用しており、グループディスカッションの機能もついています。画面を見ながらの話し合いは、ぎこちなくなるのは否めません。特に、山口にもまだ馴染まず、サークルや部活等の友達づくりの機会の少ない新入生には本当に申し訳なく思いました。

ウィズ・コロナ(コロナと共に)

ウィズ・コロナ(コロナと共に)

国際文化学部と社会福祉学部の移転と今後の北キャンパス整備

総務部長 山田 隆司

昨年十月、国際文化学部と社会福祉学部が、南キャンパスから北キャンパスの第三号館に移転しました。国際文化学部は約五十年間拠点としていたB・C館から、社会福祉学部は約二十五年間拠点としていたD館からの移転でした。

私は、昨年四月に県からの派遣で本学に参りましたが、五月の連休明けに学部移転のスケジュールについて検討したところ、準備期間を考えるとギリギリの日程であることがわかりました。急いで詳細なスケジュールを考え、六月に作業内容の説明会を行い、八月に引越業者が決定、梱包用段ボールを配布しました。

研究室の机・椅子・書棚等の什器と教育・研究資料について、移転先に持つていくものと廃棄するものに分けて、持つていく資料を段ボールに詰めてもらいました。勤続年数の長い方は、資料が膨大な上に思い出の品も多かったようです。荷造りするのに苦労したようです。図書を多く持つている方は、一人で段ボール箱二〇〇箱分を梱包し、大学での教育・研究活動における図書の重要性を感じまし

た。

作業には、学生スタッフも加わり、強力な戦力として活躍しました。移転直前の八月末には、各棟各階の廊下に段ボール箱が積み上がり、準備が整いましたが、次の心配は、予定の日程どおり移転ができるかどうかでした。

移転は、九月三日に社会福祉学部のあるD館から始まり、国際文化学部のあるC館、B館の順に進められました。開始前に、どの部屋から搬出するか、大まかな計画を立てていましたが、実際には、なかなかそのとおりにはいかず、ほぼ毎日、学科長等と調整をしました。しかし、全体としては、教員、学生スタッフの力強い協力と業者の頑張りで、台風の影響により一日遅れただけで、大きな混乱もなく九月十四日に、荷物の移転を終えることができました。最終的には、教室や研究室の受け入れ体制が整ったことをもって移転になると思えますので、移転時期は十月ということになるかと思えます。

次に、北キャンパスの整備につ

いて少し紹介します。令和二、三年度は、第三号館を始めとして、利用を開始した施設が多くあります。三年二月には屋外交流スペースとなるキャンパスモールの完成し、二月には一四〇台収容の新駐車場が完成しました。四月には、図書館も第三号館に移転することになっていきます。そして、十二月には、厚生棟が完成する予定で、食堂・売店は四年四月の開始を目指しています。これで、現在設計中の新一号館を除き、主要な施設ができることとなります。新一号館ができるのは数年先ですが、

そこには桜園会事務局も入ることになります。

私が赴任した当時、北キャンパスには工事箇所が多くありましたが、施設整備が進み、キャンパスモールができて各館のつながりができたことで、よりキャンパスらしくなったように思います。母校にえられる機会があれば、是非、第三号館内の見学やキャンパスモール周辺を散策してみてください。



キャンパスモール



新駐車場



「大学事務局

桜園会80周年に向けた
浄財ご寄付のお願い

コロナ禍に伴い、大学創立80周年の記念事業は、桜園会創立80周年に合わせ、令和5年度に延期します。この時には、新号館竣工のお祝いや、桜園会館階に設置する左写真の大和保男先生による大作、陶板壁画「昇陽」のお披露目、更にはホームカミングデー等の多彩な行事を実施いたします。

つきましては、こうした大作の設置や各種記念事業、グッズの製作等の経費に対し、皆様からさくらの森夢基金(山口県立大学創立80周年記念事業関係)へのご寄付をお願いいたします。

なお、今回の記念事業に係る高額寄付者ご芳名は陶板壁画横にプレート表示する予定です。ご協力の程、よろしくお願いいたします。



桜園会第41回公開講座
山口県立大学全学客員教授特別講義

「私たちの選択が未来を変える」 〜エシカル消費のすすめ〜

一般社団法人エシカル協会代表理事 末吉 里花

さる令和二年十一月十九日、北キャンパス二号館B四〇一教室において、第四十一回桜園会公開講座が開催された。新型コロナウイルスの影響で、講師は東京からオンラインによる講義配信となり、会場には大学と桜園会関係者が

三密を避けて座り、その他の聴講者学生はオンラインで聴講という形となった。

講師は、テレビ番組TBS系「世界ふしぎ発見!」のミステリーハンターとして世界各地を旅した経験をもつ末吉里花氏。現在は日本全国の自治体や企業、教育機関などでエシカル消費に関わる活動を展開するほか、日本ユネスコ国内委員会広報大使も務めている。

エシカルとは「倫理的な」という意味。大量消費型社会の行き過ぎがもたらす諸課題を、人間の良心から発生した社会的規範で見直し、購買行動を変えるエシカル消費運動が、世界各国で取り組まれている。末吉氏が世界の八十か国以上を旅してわかったことは、一部

の富裕層と大勢の貧困層との格差であり、地球環境や人々の暮らしを守っていくための行動を起こさないといけないということ。まずは、私たちが日々消費しているモノはどこから来るのか、だれが作っているのか、そのためにどのような影響を与えているのかを知ることが大切。そして、自然や社会や人間に対して悪影響を与えている問題を解決する方法に向けて、一人一人が一歩を踏み出すこと。その問題解決の一つにエシカル消費がある。日本より進んでいる欧米諸国の暮らし方を参考に、モノの一生(過去・現在・未来)を考え、買い方や使い方、手放し方について見直す機会にしてほしいというメッセージをいただいた。

(昭和56年児童文化卒 岩野記)

コロナ禍の中、大学との情報交換会が八月二十九日に開催された。

まず大学から、新型コロナウイルス感染症への対応について、四月に「新型コロナウイルス感染症防止危機対策本部」を設置、授業については、原則遠隔授業で実施するが、後期からは実状に応じて、実験・実習等は対面授業で実施との説明があった。

次に北キャンパス整備状況について、新二号館三階に桜園会事務局を整備するとの報告があり、桜園会としては安心した。

大学創立八十周年記念事業については、大学から新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない中、令和三年度に記念事業を大々的に行うことは難しい。代替案として二号館が竣工する令和五年十一月を目途に新キャンパス完成記念事業

を実施したいとの説明があった。

また、大学から校友会について、新たに「桜園会」を「桜園校友会(仮称)」という組織に再編、統合するという試案が示された。これは同窓生に退職教職員・教職員・在学生も加え、大学に関わった全ての者が大学を支える体制を目指すものであるが、あくまで試案なので関係者での自主的な話し合いをお願いしたいということであった。

最後に、例年桜園会として水無月祭や華月祭などさまざまな学生支援をしてきたが、コロナ禍で行事が中止になったため、別の形で学生の支援を行いたいとの申し入れを行った。

(昭和54年被服卒 中村記)

人事異動

■退職

西脇 靖洋	国際文化学部准教授
高木 健志	社会福祉学部准教授
宮崎 いづみ	社会福祉学部助手
内田 耕一	看護栄養学部教授
森山 結香	看護栄養学部助手
出口 千晴	看護栄養学部助手
白蓋 真弥	看護栄養学部助教
中村 美花	看護栄養学部助手
浦山 晶美	別科助産専攻教授

■新任

徳田 和央 看護栄養学部教授

■事務局職員転出(●法人採用)

浅川 正司	県への復帰
坂本 亘子	県への復帰
山本 達雄	県への復帰
●川村 和弘	退職
●金谷 輝一	退職

■事務局職員転入(●法人採用)

山田 隆司	総務部長(県からの派遣)
三好 政	法人経営部法人管理部門長(県からの派遣)
山根 謙二	法人経営部事業管理・経営企画部門長(県からの派遣)
●田坂 真理	総務部管財部門主任兼総務部門勤務
●大西美彩都	教育研究支援部教務部門主事

令和二年度 桜園会総会 (書面議決)

令和二年五月十七日(日)ホテルニュータナカに於いて、第七十六回桜園会総会を、開催する予定で準備を進めておりました。

令和二年二月の幹事会では、各係別の話し合いも進み、また、講演も講師にノートルダム清心女子大学・児童文学者 村中李衣先生をお迎えし、「ものがたりを通してゆたかなコミュニケーション」という演題でお話いただくことも決まり、総会の開催を大変楽しみにしていたところでした。

ところが、新型コロナウイルス感染症の流行が市中に拡大し始め、日常生活にもさまざまな制限がかかるようになってきました。

そこで、四月十七日に総務企画委員会で熟考した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の総会を書面議決とするということが提案され、四月二十五日の理事会に於いて承認されました。

それに伴い、四月三十日付で理事、支部長、総会出席予定幹事、並びに出席予定会員、計九十七

名に「令和二年度桜園会総会開催(書面議決)のお知らせ」を配付し、四月二十五日の理事会で承認された議案について、書面表決書を提出していただきました。

その結果、すべての議案について書面表決書提出者の過半数をもって可決されましたので、その結果を五月二十四日に書面で報告いたしました。

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態で、このような形での実施となつてしまいましたが一、刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、また皆様と直接お目にかかつて、旧交を温めることができる日を楽しみにしております。

第35回坪田譲治文学賞受賞



『あらののはたけ』
村中李衣 著
偕成社
一、四〇〇円＋税
山口と横浜に住む二人の少女の往復書簡。
虫や動物、畑の作物達にいのちの法則を学ぶ。

令和3年度 桜園会第77回総会の ご案内

令和三年五月十六日(日)にホテルニュータナカで予定しておりましたが、第七十七回桜園会総会は、本年度同様、書面議決という形で実施することになりました。

来年度こそは、従来通りの形での総会開催を考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、十一月十九日に臨時理事会を開催し、本年度同様、書面議決で執り行うということに決定いたしました。

つきましては、総会議案を審議し、表決をご希望される会員の方は、事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

事務局からの お知らせ

大学から、校友会設立の提案をうけ、桜園会としてもあるべき姿をさまざまな視点から検討中です。

事務局からのお願い

同窓会の運営は皆さんの会費で成り立っております。会費の納入にご協力下さい。

◆桜園会本部年会費納入(2千円)をお願いいたします。
*希望される方は終身会員になることができます。
終身会費は一括払いで2万円です。

(H30.5.13改定)

◆振込用紙に郵便番号、住所(番地、建物名、部屋番号)、氏名(ふりがな)、電話番号を正確にご記入下さい。
通信欄には会員番号(封筒の宛名シール右下)、卒業年・科・勤務先、送金明細をお書きください。
*住所・勤務先の変更、改姓も必ずお知らせ下さい。

◆ご連絡・ご質問の窓口

山口県立大学同窓会桜園会事務局

住 所 〒753-8502 山口市桜島 3-2-1
TEL&FAX 083 (925) 7485 (職員在室日は水・金曜日 10時~17時)
E-mail ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp
山口県立大学のホームページからもアクセスできます。
(<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp>)

*桜園会では、個人情報保護法を遵守し、取り扱いについては慎重に対応してまいります。

令和元年度桜園会会計収支決算書

R2.4.8 (単位:円)

目		令和元年度決算額
科 収	入 金	6,570,859
繰 越	金 費	5,573,000
経 常	入 金	5,268,796
本 部	会 費	595,000
事 業	負 担	20,721
雑 収	入 計	18,028,376
支 総	出 費	778,891
会 議	費 費	284,660
支 部	助 費	1,177,948
会 報	成 費	1,321,944
公 開	講 費	131,016
桜 園	座 費	188,035
入 会	記 費	468,000
広 報	活 費	148,616
旅 通	信 費	1,084,606
印 刷	費 費	97,324
事 務	運 費	28,480
局 運	営 費	2,235,181
退 職	給 金	600,000
情 報	管 理 費	163,800
備 品	費 費	431,481
消 耗	品 費	249,214
雑 費	費 費	22,147
特 別	会 計 入	1,500,000
予 備	費 費	0
合 計	支 出 計	10,911,343
次 年	度 繰 越 金	7,117,033

会員近況報告

第二十三回

日本書出版文化賞に入選して

熊本 玲子

昨年九月、拙著『日向の匂い』が、エッセイ部門で入選との通知を頂きました。望外の幸せです。折々の情景や思い、暮らしぶり等を、主婦の目線で綴った二十六篇。主人が、令和元年秋の叙勲で瑞宝中綬章を賜り、これで人生の幸運は使い果たしたと、笑い合ったりしたことでした。

結婚以来、県大近くの桜島に住み、いつの間にか五十年経ちました。その間、困難や落胆や心配、様々に起状はありながら、しかし、いつも穏やかに心根の優しい主人のおかげで、私は安気に伸び伸びと年を取ることができました。降り立てばすぐ背に充ちる、庭の日



同人誌『やまなみ』抄(二)
平成31年4月30日発行
俳画は故大庭三朗教授

だまりのような素朴な温かさ、大きな力に護られてきたように思えます。それは、私の「生活の芯」ともいえるものとなりました。書名は、主人への感謝の気持ちです。

干し草の匂いは、息子達の幼い頃のままだに今もあり、庭の茂みの冬草、道端のなすなさえ、日暮の暮らしの中にひっそりと、しかし確かに根付いていました。

コロナ禍の中で、不要不急を取り除いた生活を、初めは味気なく感じておりました。今、二日を生存できることの有難さ、平凡な「生活の芯」の響けさにつくづくと思ひ至っております。

丁寧(丁寧)に懇ろに時を重ねていきたいと念じております。
(昭和43年国文学)

会員近況報告

すべてが仕事に
活きる

石川 優一

私は山口市にある広告代理店で、主にクライアントの要望にあった広報活動(イベント企画、ホームページ・チラシ制作等)をお手伝いしています。取引先は民間企業、行政、商店街、プロサッカーチーム等と幅広いジャンルの



方々と一緒にお仕事させて頂いています。それぞれが「想い」をもつてご依頼されますので、そのクライアントにベストな提案を多方面の角度から行うことが必要不可欠になります。また、自分だけでなく専門分野の方と関わって取り組むことで大きな成果を得られることも日々実感しています。

山口県立大学で私は様々なことにチャレンジさせて頂きました。その中で、いろいろな方とも出会えました。そこで培った経験や出会いが今の仕事に活かされていると思います。また、現在は管理職の立場としてチームのメンバーの能力をいかに発揮するかを考えなければいけないことも多く、ここでも大学での経験が活かしていると感じます。こ

の「経験」と「出会い」は何にも代えられない貴重な自分だけの資産となつていきます。

愛媛県からこの山口に来て十年以上過ぎましたが、山口という場所がとても好きになった私としては、これからもいろいろな方とこの場所でお仕事をするのが楽しみです。

(平成23年文化創造卒)

会員近況報告

社会人としての
一歩

吉松 優香

私はこの四月に山口市役所に採用され、現在教育委員会勤務しています。仕事内容としては、小学校及び中学校の学校管理を中心に、学校に通う子供たちが勉強に集中できるように環境整備等に取り組んでいます。

仕事を始めて強く感じたことは、当たり前ですが常に誰かの支えがあつて成り立っているということ。学生時代は、気づかなかつた当たり前環境のありがたさに気づくことができ、仕事を通して自分自身少し成長できた気がしました。

私自身、大学時代は社会福祉

を学ぶ中で、地域住民との関わりの中から生まれる学びを痛感し、これまで生活してきた山口市に恩返しができる仕事があったらと考え、山口市役所を希望しました。実際に市役所に入庁してみると、市役所には様々な部署があり、今まで見えていなかった活動や、仕事内容を知り、もっと市民の方々のために活動できる人になりたいと感じるようになりました。

あと少しで社会人二年目が終わろうとしています。上司や先輩、同期に日々支えてもらいながら仕事に取り組んでいます。これから先いろいろな壁にぶち当たり、悩む事もあると思いますが、学生時代に得たことを胸に、私らしく乗り越えていきたいです。

(令和2年社会福祉卒)



第二十回桜園会賞 受賞報告

功労賞

今、想う
卒業後の人生

吉田 節子

このたび、令和二年度功労賞を賜わり恐縮に存じます。これはひとえに恩師はじめ同窓会そして多くの皆様のご教示の賜物と深謝申し上げます。

振り返ってみますと、卒後二十一年間は山口県行政栄養士として市町村のご協力のもと、山間辺地都市部離島において重点目標の「栄養改善地区組織活動の育成・強化」が達成できましたことは何よりも有り難く、幸せなことでした。

昭和五十年、山口女子大学開学を機に管理栄養士養成大学として認可され、多くの有能な人材を送り出すことができました。卒業生は大学の命運を背負って頑張り、後輩の模範となってくれています。

また、在職中には大学の改組拡大により、社会福祉学部・看護学部の新設、男女共学、そして念願の桜園会館の新築など、多忙の中



にも貴重な体験をさせていただいたことは、望外の喜びであり感謝しております。

「継続は力なり」「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」を座右の銘として、教育・研究・家庭の両立に精進してきた卒業から今日までの人生だっただよように思います。

謹んで山口県立大学および同窓生の益々のご発展をお祈り申し上げますと共に、長年のご厚情に改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

(昭和28年食物卒)

奨励賞

変わることに
変わらないこと

アトリエ a.p.r 代表
着物リメイクデザイナー
片山 涼子

この度桜園会奨励賞という大変名誉な賞を頂き、改めて皆様にお礼申し上げます。二〇二一年から行ってきた『ファッションショー』を通じた地域協働と共創による地域文化活性化のための活動』を評価していただきました。しかし昨年の春は残念ながらファッションショーは開催直前で中止となりました。人が集まれないという事態を受けて発想を転換し、ショーに向けて準備をしてきた仲間たちと共に、初の動画作品を製作し発表



しました。その結果、今まで以上に多くの方々に作品や大観の景観の素晴らしさを感じてもらうことが出来ました。

そして春から夏にかけて逢いたい人に逢えない日々が続きました。そこで初めて布マスクを作り、逢いたい人を想いながら贈り続けました。それをきっかけに夏には初めての企画展「おでかけマスク展」を開催することになりました。おでかけが楽しくなるように、そしてそれが少しでも経済活動の回復に繋がればという願いを込めて、様々な色柄の布マスクを展示販売し、大変多くの方々に手に取っていただくことが出来ました。

このように昨年は自身にとって本当に変化の年だったと思います。しかし同時に、誰かを想つてものづくりをするという根底は変わらないことにも気付かされました。そんな年に頂けたこの賞は「そのまま頑張りなさい」と背中を押してくれているようでした。

(平成19年環境デザイン卒)

平成21年大学院卒)

学生支援

大学に、学生支援の二環として、「体温検知機能付きカメラ」五台と、「自動手指消毒器」十七台を寄贈しました。

キャンパスの各棟入り口に設置されています。新型コロナウイルス感染症対策の一助となれば幸いです。



自動手指消毒器



体温検知機能付きカメラ

新刊紹介



『きつおんガール』
小乃おの 著
(平成22年社会福祉卒)
合同出版
一、五四〇円

学生賞

地域福祉を 知ってほしい！

赤い羽根共同募金
啓発サークル
MEP（めつぷが）
〜未来を笑顔にプロジェクト〜
代表 雨村 紘海

この度は、桜園会学生賞という名譽ある賞をいただき大変うれしく思います。誠にありがとうございます。

MEPは、地域福祉を支えている赤い羽根共同募金について皆さんに知ってもらえるように活動している、三年生八名のみ的小さなサークルです。

例年の活動内容は、県内の学校で赤い羽根についての出前授業や、みやのまつりや学祭といった地域のイベントに出展して、オリジナルデザインの寄付付きペンや代表手作りのバルーンアートの販売を行っています。寄付付きペンは学内の売店でも販売していただいています。また、山口県共同募金会がイベントをされる際のボランティアスタッフとしても活動しています。

今年も例年通りの活動がほとんどできなかつたため、SNSでの情報発信や、今までの出前授業の反応を受けたチラシの作成を行いました。また、新しい活動とし

て、オンラインのプレゼン大会に挑戦しました。

いきなりですが、皆さんは住んでいる地域で実際にどんな福祉の活動が行われているかご存じですか？

私たちは赤い羽根が使われている地域の福祉活動について皆さん一人ひとりに知ってもらおう事で、やまぐちを「未来を笑顔に過ごせるまち」にできたらと思っています。

この度の受賞を励みに、より多くの方に赤い羽根共同募金や地域の福祉について考えていただけるように、より一層活動に励んでまいります。

(社会福祉3年)



学生賞

鷺流狂言の魅力を発信 芸能サークル

『結・Yuuie』
代表 安藤 晴香

この度は大変光栄な賞を頂き誠にありがとうございます。

私達は山口県指定無形文化財「鷺流狂言」の魅力発信を目的とする「山口鷺流狂言保存会県大支部」を前身としており、今年度、サークルとして再出発しました。以前は広報や公演の運営補助が主な活動でしたが、一昨年度からは学生地域向けの体験型イベント「山口鷺流狂言ワークショップ」を開催しています。台本の穴埋めクイズや紙で面を作る講座など、初めて狂言に触れる方でも楽しめるように工夫しています。

第三回目の開催では「扇と舞と謡」と題して、演目「不毒」の舞の実演に挑戦しました。

狂言特有の動作や発声が難しかったのですが、山口鷺流狂言保存会の米本太郎さんのご指導のもと練習を重ねた甲斐があり、参加者からは「狂言に対するイメージが変わった」などの感想を頂きました。私達にとっても、演者として狂言の魅力を再発見できたことは非常に良い経験となりました。

コロナウイルスの影響により今年度のワークショップは中止しましたが、創作狂言「南北昇降」の動画を制作し、YouTubeで公開しました。今まで支えて頂いた米本さんや顧問の稲田先生をはじめ、先輩方、関係者の皆様への感謝を

忘れず、今後も山口に伝わる貴重な文化を傳承します。

(文化創造3年)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます

◆教職員

旧教	中山 英	男	R2.11.30
旧教	高山 治	男	R3.1.30
旧職	久保 田	男	H30.10.13
旧職	岸本 寿	男	R2.3.16

◆会員

S35食物	日野 八州子	H26.4.21
H1被服	速水 眞理子	H28.1.17
S28食物	齋藤 満典子	H28.8.17
S55被服	河崎 丸恭子	H28.12.24
S20裁縫	田中 瀬和子	H29.5
S22国語	下瀬 宗和子	H29.8
H24社福	宗本 千佑子	H29.9
S20裁縫	皿本 千子	H30
S31国文	谷松 幸子	H30.2.26
S31食物	並永 怜子	H30.9.3
S18家事	糸永 智子	H30.10.7
S27食物	中山 本雅子	H30.10.30
S23生活	山時 政美子	H31.2.26
S24生活	山本 富子	R1.5.29
S23育児	山本 富子	R1.6.3
S40食物	重村 子節子	R1.6.8
S45食物	仲子 芳子	R1.6.17
S26食物	藤本 瑛子	R1.8
S24国語	右田 桂子	R1.8.5
S22養訓	坂根 越和子	R1.8.19
S22被服	野村 和子	R1.9.8
S24育児	大西 千子	R1.9.22
S22国語	藤井 照子	R1.11
S26生活	藤新 清子	R1.11.8
S35保育	井上 瑞代子	R1.12.6
S20家事	山崎 波静子	R1.12.18
S25生活	柴田 静枝子	R2.1.13
S24被服	勝谷 久枝子	R2.1.14
S23養教	花崎 珠子	R2.2.11
S41国文	片岡 郁子	R2.2.24
S19家事	真邊 澄子	R2.3.9
S22保健	磯 桂子	R2.6.1
S19家事	中山 定枝子	R2.7
S37食物	福井 健枝子	R2.8.22
S30被服	松倉 彰子	R2.9
S24育児	小島 津寿子	R2.10.8
S24育児	小林 喜代子	R2.11.13
S19裁縫	小坪 真子	R2.12.1
S29被服	渡辺 睦子	



初「広島支部だより」

広島支部長 金重 知子

広島駅隣のホテルの上階の一室。交通の便も見晴らしも申し分のない会場で、隔年の秋に開かれていた広島支部総会ですが、コロナ禍により、今年も中止。二年連続で、支部活動が、ご無沙汰！広島支部そのものが忘れられてしまう危惧を感じました。

それなら、一堂に会す代わりに、会報で繋がるとういうことになりました。

が、初めての試みで、どうやって、誌面を作ればよいのやら。役員で話し合いたいと、公民館を予約したものの、活動自粛の要請や大雨警報のため、ままならず、連絡は、専らLINEと電話でした。

不慣れたパソコン操作ゆえ、構成は、お恥ずかしい限りですが、小橋圭介先生、鶴昌代先生、その他支部会員さんの原稿のお蔭で、読み応えのある「広島支部だより」が出来たと思っております。

小橋先生には、今現在の閉塞的な日々を楽しく過ごすヒントを、鶴先生には、源氏物語に登場するユニークな女性を通して、古文の面白さを教えていただきました。その他、支部会員さんの母校での思い出や近況には興味を惹かれました。欲を言えば、

若い世代や男性の投稿がもう少しあればと思います。次回への課題です。

御協力いただいたすべての方には、厚く御礼申し上げます。

(昭和58年被服卒)



新企画で交流

山口支部長 長安 寛子

二〇二〇年、新型コロナウイルス感染が世界中に広がり、人々の生活も大きく変わることになった。うとはだれが予想したでしょうか。

山口支部の活動も、全員がそろって役員会ができたのは六月になってからでした。総会は書面議決で行い、研修視察旅行は残念ながら中止せざるを得なくなり、気分も沈みがちでし

た。そんな中で、会員の皆様と何か触れ合うことはできないだろうかかと考え、企画したのが近況報告による紙面交流です。心待ちにしている気持ちにこたえるように、幅広い年齢層の方から心温まるお便りが届きました。コロナ禍にあっても、心豊かに前向きに人生を楽しんでいらっしやる姿に、たくさんの元氣・勇氣をいただきました。

そして、お楽しみとして抽選会を行い、コロナで打撃を受けた山口県の経済を少しでも応援しようとして、五名の方に山口県名産品詰め合わせやシクラメンの花鉢を送りました。

また、この企画をしたことで、丁寧なお礼状をいただいたり、投稿に添えて、役員に対しても励ましやねぎらいのメッセージが届けてくださり、皆様とのつながりを感じる事ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

(昭和50年保育卒)



桜園会支部リスト (令和2年11月現在)

支部名	支部長名	支部長連絡先	支部会員数(名)
関東	椎木 正子 (被服62)	276-0046 千葉県八千代市大和田新田911-117ルファグランテ緑が丘5番線231	769
東海	東 淳子 (食管H4)	483-8065 愛知県江南市高屋町旭 74-2	147
近畿	中島 久実 (食物46)	664-0003 兵庫県伊丹市大野 3-45	691
広島	金重 知子 (被服58)	730-0835 広島県広島市中区江波南2-23-131A -グリ-江波山605	729
四国	村松 幸子 (食物35)	770-8032 徳島県徳島市北山町岩崎 6-2	334
北九州	山本 アンナ (被服59)	807-0805 福岡県北九州市八幡西区光貞台 2-9-15	446
福岡	門屋 小夜美 (保育49)	811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西2-23-4-1002	474
佐賀	松林 郁子 (児文62)	849-1112 佐賀県杵島郡白石町福田 1894-31	140
大分	栗屋 文世 (国文44)	876-0843 大分県大分市中島西一丁目5-10富国パルロイナル中島西1502	305
岩国	友田 英美 (食物33)	740-0034 山口県岩国市南岩国町 2-38-27	241
柳井	福田 玲子 (国文55)	742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5439-4	229
下松	小田 玲子 (陶29/児文56)	743-0063 山口県光市島田 3-1-11	350
徳山	藤井 由美子 (陶28/国文45)	745-0027 山口県周南市祇町 1-3-1303	387
防府	田村 敬子 (国文H2)	747-0064 山口県防府市高井 531-1-10A	530
山口	長安 寛子 (保育50)	753-0021 山口県山口市桜島1-6-3	1568
萩	藤井 郁子 (陶21/国文47)	759-3112 山口県萩市大字下田万 1006-2	201
長門	中村 典子 (保育51)	759-4103 山口県長門市深川湯本420	161
宇部	藤井美由紀 (食栄57)	757-0002 山口県山陽小野田町274-52	829
小野田	常岡 和美 (食栄H11)	756-0010 山口県山陽小野田町新有帆町22-4-6	226
下関	田村 三代 (国文57)	751-0883 山口県下関市田倉504	506

編集後記

皆様お元気でしょうか。昨年は同窓生の皆様にとっても大変な一年であったかと思えます。このような状況でお送りできないのではないかと不安で発行できないのではなかったかと不安でした。総会は書面議決、全国の支部会も中止、イベントも軒並み開催が難しいとなれば書くことがありません。…となると誌面が埋まりません。ところが蓋を開けてみれば、同窓生の皆様はこの状況に屈することなく、それぞれの立場でご尽力をされておられ、私の不安を軽やかに吹き飛ばしてくださいました。お忙しい中、執筆や資料提供にご協力いただいた同窓生の皆様はこの場をお借りして心

よりお礼申し上げます。いつも以上に、同窓生の底力を痛感し感謝しております。

会報でご紹介した通り、新三号館の利用が開始しました。教育的整備が整った矢先のこの状況、学生の声も聞こえないため折角の新校舎は何とも無機質で寂しげです。やはり施設は使われてなんぼ、人が集って初めて血が通います。そこで皆様にお願ひです。この状況が落ち着きましたら、是非とも新校舎に足をお運びください。そして、母校を一緒に活気づけていただけたら幸いです。

(小橋記)